



学校百景⑱ 歌声響く中庭

先週26日(木)は、昼休みに中庭ミュージックタイムが開催されました。合唱部は年に数回、中庭(通称:むらさき広場)でミニコンサートを開いてくれています。

コンサートでは、九州合唱コンクールで歌う、「一番はじめは」と「歌の始まり」という曲を披露してくれました。中庭に、合唱部の子供たちの美しい歌声が響き渡りました。歌っている子供たちは表情豊かに歌い、それを聴いている子供たちは、自然と微笑んでいました。自分たちの教室前の廊下から聴いたり、中庭に行って目の前で合唱を聴いたりするなど、一人一人が歌を楽しみながら聴いていました。合唱が終わると、「アンコール!アンコール!!」の音が自然と沸き起こりました。

合唱を終えて、合奏部の子供たちに質問すると「今日は楽しく歌うことができました。アンコールの声も嬉しかったです。」「九州大会に向けていい感じで歌うことができました。」と次への意欲を高めていました。

聴く側にとっては「帯西ブルー」が登場し、合唱部の子供たちにとっては「よりよい学校をつくる」という「帯西イエロー」も活躍した休みとなりました。



九州合唱コンクール in 宮崎

29日(日)は、九州合唱コンクールが宮崎市民文化ホールで開催されました。九州各県から予選を通過してきた、29団体が集まり、ハイレベルなコンクールとなりました。合唱部は、九州大会に向けて、地道な基礎練習や、パートごとの練習など、汗を流しながら心を一つにしてきました。コンクールのパンフレットには、次のように書いてありました。「帯山西小学校では、ボランティア活動や、委員会、たてわり班活動が盛んで、6年生がリードして活躍し、みんなが楽しく過ごせる学校です。合唱部でも6年生を中心にアイデアを出し合い、練習を進めてきました。(後略)」とありました。合唱部は3年生から6年生までの44人も部員がいる大所帯です。その中で、心を合わせて歌を歌うことは、大変難しいことですが、今回はその成果を見事に発揮してくれました。

大舞台に帯西合唱部が登場すると、その人数の多さに圧倒されました。そして、子供たちが凛とした姿勢でステージに立ち、指揮者の力田先生の合図で一斉にスッと息を吸うと「一番はじめは…」と息ぴったりに歌い出しました。そのあとはパートごとに音を追いかけていながら見事に歌い切りました。二曲目の「歌の始まり」は、子供たちから歌うことの楽しさや喜びが感じられるような表現で締めくくってくれました。

結果は、見事銀賞を受賞し、「審査員・大田桜子賞」という特別賞もダブル受賞するなど、努力が実ってきたことを感じさせられました。次は、10月20日(日)にある、熊日合唱コンクールを目指して気持ちを新たに挑戦するそうです。

